

ホットニュース

(社)岡山県畜産協会と岡山県畜産課は共催で12月3日、岡山市芳賀のテクノサポート岡山において、畜産農家が労力不足等で生産出来ない飼料作物を耕種農家に組み合わせてもらおうと耕畜連携推進研修会を開きました。

この研修会には畜産農家・稲作農家・関係者約100人が参加しましたが、事例紹介では飼料米や稲わらを肥育農家に提供している事例や耕種農家が飼料イネの収穫作業を請け負っているコントラクターの活動など3事例の報告がありました。

講演では鹿児島県で飼料用トウモロコシを栽培し、サイレージに調製して販売している農業生産法人・坂上芝園の坂上隆専務による講演や「自給飼料生産は耕種農家のビジネスとなり得るか」をテーマに意見交換を行いました。



あとかき

新年明けましておめでとうございます。本年が皆様方にとって佳い年になりますようお祈りするとともに、本年も、相変りませず、本誌のご愛読をよろしくお願い致します。

今年は、昨年末にトウモロコシ相場が下がったことと円高になったことにより、配合飼料価格が下がると言われ、また、乳価が3月には上がることで、少しは明かりが差して来たでしょうか・・・。

丑年の本年こそ、畜産業全体が一步一步確実に歩んでいくことを祈りたい。

(M・Y)